

小体研

Physical education

2019年(令和元年)

11月27日(水)

◇第11月号◇

八重山地区小学校体育研究会広報誌

沖縄県学校体育研究発表大会（八重山大会）に向けて

石垣市立真喜良小学校 友利 大希



沖縄県学校体育研究発表大会もいよいよ目前です。

大会に向けて、本校体育専科の半嶺当陽先生をはじめ、小体研の先生方から温かいたくさんの助言や励ましの言葉をいただいています。

先日行われました5年1組の検証授業でも、お忙しい中、参観にきていただき、たくさんのアドバイスをもらいました。授業改善につとめていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

学級の子どもたちも日々盛り上がりを見せてくれています。授業でも、キャッチバレーボールを楽しみながら、作戦を一生懸命考える姿が見られるようになりました。

当日の授業では、子どもたちが作戦を考え、声をかけ合いながら、チームが一つになって試合をする姿を見ていただけたらと思えます。

5年3組の子どもたちと精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

沖縄県学校体育研究発表大会（八重山大会）を直前にして

石垣市立新川小学校 平地 竜樹



いよいよ、発表大会直前となり、緊張と不安と期待が波のように交互に押し寄せている心境です。

今回、保健領域で授業を行うこととなり、小学校体育研究会の先輩方や後輩達からも叱咤激励を頂きながら授業準備や検証授業を行いなんとか形になってきました。

本授業は6学年保健単元の「病気の予防」を展開していきます。単元内容は「病気の予防」の発展教材「広げよう」「紫外線予防について」ということとして新たにチャレンジしていきます。

近年、沖縄の地域環境問題として紫外線量の強さが人体に与える影響は大きいにも関わらず、「沖縄は暑い！日焼けなんて当たり前！健康的でいい！」と紫外線について軽視されています。

その一方では、皮膚に与えるダメージや、近年沖縄の児童の眼球調査データを見ていくと、瞼裂斑（けんれつはん）といういわゆる「目のシミ」が本土の児童に比べて格段に多く、それを予防せず蓄積すると将来、翼状片や白内障という病気に繋がることがわかってきました。その現状から沖縄県の子ども達を児童期からどのように予防・実践していくかをテーマに、どう思考させていく授業にするか、保健領域グループの先生方の協力の下、模索してきました。

そこで、養護教諭の兼島和子先生とT・T授業形態をとり、専門的な知識を学ばせ、展開していきます。個々の生活スタイルや生活環境は多様化する中、自分事として捉えさせ、予防法を見つけ、実践していくかを授業展開で思考・判断させていくかが授業のポイントとなります。

新たな試みの授業になりますが御指導・御助言を頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

沖縄県学校体育研究大会（八重山大会）

令和元年11月29日(金) 14時開始

真喜良小学校体育館（運動領域）及び3年2組教室（保健領域）

たくさんのご参加をよろしくお願いいたします！